

# 共通教育履修案内

2023（令和5）年度以前入学者対象

2024（令和6）年度三重大学共通教育

三重大学 共通教育

<https://www.ars.mie-u.ac.jp>

# 目次

<b>2023（令和5）年度入学者対象</b> .....	1
再履修および編入学時の注意点について .....	1
I スタートアップPBLセミナー .....	1
II キャリア教育入門.....	1
III 英語.....	1
1. 「英語Ⅰ大学基礎」および「英語Ⅰコミュニケーション」 .....	1
2. 「英語ⅠTOEIC」 .....	1
3. 選択して履修する科目 .....	2
4. 英語履修相談 .....	2
IV スポーツ健康科学.....	3
1. 「スポーツ健康科学A」および「スポーツ健康科学B」 .....	3
2. 「スポーツ健康科学概論」 .....	3
V データサイエンス.....	4
VI 専攻基礎科目 .....	4
<b>2015（平成27）～2022（令和4）年度入学者対象</b> .....	6
再履修および編入学時の注意点について .....	6
I 教養基盤科目 アクティブ・ラーニング領域.....	6
1. 「スタートアップPBLセミナー」および「スタートアップセミナー」 .....	6
2. 「教養セミナー」および「教養ワークショップ」 .....	6
II 教養基盤科目 外国語教育領域 .....	7
1. 「英語ⅠTOEIC」 .....	7
2. 「英語Ⅰ大学基礎」および「英語Ⅰコミュニケーション」 .....	7
3. 「英語Ⅱ発展」 .....	7
4. 英語履修相談 .....	8
III 教養基盤科目 異文化理解領域 .....	9
1. 「ドイツ語」 .....	9
2. 「フランス語」および「中国語」 .....	9
3. 「朝鮮語」、「ロシア語」、「スペイン語」および「ポルトガル語」 .....	10
4. 異文化理解履修相談 .....	10
IV 教養基盤科目 健康科学領域 .....	12
1. 「スポーツ健康科学a」および「スポーツ健康科学b」 .....	12
2. 「スポーツ健康科学概論」 .....	12
V 教養基盤科目 基礎教育領域 .....	13
VI 教養基盤科目 キャリア教育領域 .....	13
VII 教養統合科目 .....	14
<b>2014（平成26）年度以前入学者の履修について</b> .....	16

# 2023（令和5）年度入学対象

## 再履修および編入学時の注意点について

再履修・編入学時の共通教育科目の履修については、以下の項目に注意をした上で、入学年度の履修案内に基づいて履修をすすめてください。

なお、休学からの復学の場合、科目によっては再履修としての履修になることがあります。以下をよく読み、不明な点については必ず科目の担当者に相談してください。

### I スタートアップPBLセミナー

再履修生および編入生は、「スタートアップ PBL セミナー編入生・再履修生クラス(前期水曜 11・12 限)」に履修申告してください。

また、第1回の授業に必ず出席してください。

### II キャリア教育入門

所属する学部・学科・コース向けに開講されている「キャリア教育入門」に履修申告してください。他学部向けに開講されているクラスを履修することはできません。

### III 英語

#### 1. 「英語 I 大学基礎」および「英語 I コミュニケーション」

再履修生、編入生および休学明けの学生で、「英語 I 大学基礎」および「英語 I コミュニケーション」の単位が未修得の場合は、前期または後期中に開講される再履修クラスを履修してください(1年生用クラスへの履修登録はできません)。再履修クラスの開講曜日時限は共通教育時間割表で確認してください。

#### 2. 「英語 I TOEIC」 (人文学部、教育学部英語教育コース、工学部、生物資源学部のみ対象)

再履修生、編入生および休学明けの学生で、「英語 I TOEIC」の2単位が未修得(1単位のみ修得もしくは単位修得なし)の場合は、「英語 I TOEIC」集中再履修クラスを履修してください。

##### (1) 「英語 I TOEIC」集中再履修クラスの評価について

「英語 I TOEIC」集中再履修クラスの評価は、授業の合格と授業直後のTOEIC IP テストの結果によります。集中再履修クラスの授業に合格し、授業直後の IP テストのスコアが 400 点未満の場合は評価点 6、400 点以上の場合、評価点 7 以上で**1単位が認定**されます(400 点→7、440 点→8、480 点→9、520 点→10)。600 点以上の場合、「英語 I TOEIC」の未修得単位(1 単位もしくは 2 単位)が評価点 10 で認定されます。

##### (2) 「英語 I TOEIC」集中再履修クラスの開講時期と対応する TOEIC IP テストについて

「英語 I TOEIC」集中再履修クラスは、9 月及び 3 月に開講します。9 月集中再履修クラスの TOEIC IP テストは 9 月に実施し、3 月集中再履修クラスの IP テストは翌年度 4 月に実施します(新入生用の 4 月 IP テストが対象となります)。日程の詳細については、共通教育行事予定表を確認してください。なお、7 月に実施される TOEIC IP テストを受験することはできません。

##### (3) 「英語 I TOEIC」集中再履修クラスによる単位認定の時期について

- ①9月の集中再履修クラスと9月IPテストによる単位は**後期の単位**として認定されます。
- ②3月の集中再履修クラスと翌年度4月のIPテストによる単位は**翌年度前期の単位**として認定されます。

#### (4) 「英語 I TOEIC」集中再履修クラスの履修登録について

「英語 I TOEIC」集中再履修クラスは、ユニパから履修登録する必要はありません。[共通教育学生掲示板](#)の掲示に注意し、必ず教科書を購入して第 1 回目の授業に出席してください。

	TOEIC IP テスト	単位認定の時期	履修登録
9月「英語 I TOEIC」集中再履修クラス	9月 IP テスト	後期	不要 (掲示に注意すること)
3月「英語 I TOEIC」集中再履修クラス	翌年度 4 月 IP テスト	翌年度前期	

### 3. 選択して履修する科目

#### (1) 「英語 I 初級 TOEIC」

「英語 I 初級 TOEIC」は教養基礎科目(副専攻科目)で自由に選択できる1単位の授業科目で合計2単位まで修得することが可能です。授業の詳細内容はシラバスを参照してください。

※「英語 I 初級 TOEIC」は「英語 I TOEIC」の再履修には使えません。

#### (2) 「英語 II 発展」

「英語 II 発展」は教養基礎科目(副専攻科目)で自由に選択できる科目です。以下のいずれかの学生が受講できます。

- ①1年次4月の TOEIC IP テストまたは 7 月以降の TOEIC IP テストで 500 点以上を取得した学生
- ②「英語 I TOEIC」もしくは「英語 I 初級 TOEIC」2単位を修得済みの学生

「英語 II 発展」には以下の授業科目があり、同じ授業科目名は、合計で2単位まで修得することが可能です。ただし、同一学期に同じ授業科目を2単位分履修する場合は、必ず担当教員の異なる授業を履修してください。重複履修の手続きも必要となります。各授業の詳細内容はシラバスを参照してください。

授業科目名	内容
英語 II 発展 A a	プレゼンテーション
英語 II 発展 A b	プレゼンテーション
英語 II 発展 B	リーディング&ディスカッション
英語 II 発展 C	ライティング
英語 II 発展 D	ビジネスイングリッシュ
英語 II 発展 E	TOEIC 受験対策

※同じ授業科目について2回(2単位)まで単位を修得することができます。

### 4. 英語履修相談

前期・後期ともに、履修申告期間に「英語履修相談」を実施します。英語の履修に関して、質問がある場合は相談に来てください。「英語履修相談」の日時や場所については、共通教育学生掲示板に掲示します。

## IV スポーツ健康科学

### 1. 「スポーツ健康科学A」および「スポーツ健康科学B」

#### (1) 単位認定

再履修生および編入生が「スポーツ健康科学A」または「スポーツ健康科学B」を履修する場合は、必ず同じ名称の科目を履修してください。例えば、「スポーツ健康科学A」の単位が認定されなかった場合は、「スポーツ健康科学A」を履修してください。「スポーツ健康科学B」を履修しても「スポーツ健康科学A」の単位としては認められません。

#### (2) クラス指定

再履修生および編入生の履修について、以下のようにクラスを指定します。

①所属学部ごとに指定されている曜日で履修してください。ただし、人数の都合で木曜日 7・8 限は原則として受け入れられません。

②上記の①が不可能な場合は、履修を希望する曜日・時限の第1回目授業時の履修ガイダンスの最初に担当教員に申し出てください。やむを得ないと判断された場合は、他学部指定されている曜日・時限での履修が認められます。

#### (3) 履修申告

履修申告は前期および後期ともに、以下の手順で行います。

①まず、通常の履修申告期間中に、指定されたクラスに開講されている運動種目の中から、希望する種目一つを選んで登録してください。これは仮の申告です。

②次に、4月または10月の第1回目の授業時に、第一体育館において履修ガイダンスを実施し、種目を決定しますので、必ず出席してください。このとき、本人の希望は考慮しますが、施設や用具等の諸条件により希望どおりにならない場合もあります。

③履修ガイダンスによって決定した種目を、前期または後期の履修科目修正期間に正しく登録してください(仮の申告と同じ種目になった場合は確認してください)。これが本申告となります。

※第1回目の授業に出席できなかった者は、第2回目の授業までに教育学部1号館1階「保健体育事務室」にその旨を報告し、体育カードの作成と種目決定の手続きを行ってください。

※「スポーツ健康科学B」を履修する人文学部法律経済学科の学生は、履修申告人数の状況によって抽選となります。必ず第1回目の履修ガイダンスに出席すること。欠席の場合は、履修することができません。

### 2. 「スポーツ健康科学概論」

再履修生および編入生が「スポーツ健康科学概論」を履修する場合は、再履修クラスに履修申告してください。履修申告については、他の授業科目と同様に行ってください。

## V データサイエンス

「データサイエンスⅠ」および「データサイエンスⅡ」の再履修については、各学部の指示に従って再度履修してください。

## VI 専攻基礎科目

専攻基礎科目の再履修については、各学部の指示に従って履修してください。所属学部・学科・コースによっては、再履修生用の授業ではなく、クラス指定の授業を再履修する必要があります。履修する際は、当該授業が再履修の授業に該当するか、所属学部の指導教員等に確認してください。場合によっては、再履修したクラスの単位が卒業単位として認められないことがあります。

なお、工学部の専攻基礎科目の履修については、「工学部学習要項」に記載されている各学科またはコースの注意事項に従ってください。

授業科目名	対象学部	再履修の方法
ドイツ語Ⅰ基礎a	人文学部・教育学部 (英語教育コース)	再履修生用のクラスを履修してください。
ドイツ語Ⅰ基礎b	人文学部・教育学部 (英語教育コース)	再履修生用のクラスを履修してください。
ドイツ語Ⅰ演習a	人文学部・教育学部 (英語教育コース)	再履修生用のクラスを履修してください。
ドイツ語Ⅰ演習b	人文学部・教育学部 (英語教育コース)	再履修生用のクラスを履修してください。
フランス語Ⅰ基礎a	人文学部・教育学部 (英語教育コース)	再履修生用のクラスはありません。 クラス指定の授業を再履修してください。
フランス語Ⅰ基礎b	人文学部・教育学部 (英語教育コース)	再履修生用のクラスはありません。 クラス指定の授業を再履修してください。
フランス語Ⅰ演習a	人文学部・教育学部 (英語教育コース)	再履修生用のクラスはありません。 クラス指定の授業を再履修してください。
フランス語Ⅰ演習b	人文学部・教育学部 (英語教育コース)	再履修生用のクラスはありません。 クラス指定の授業を再履修してください。
中国語Ⅰ基礎a	人文学部・教育学部 (英語教育コース)	クラス指定授業の初回履修登録クラスに履修登録してください。
中国語Ⅰ基礎b	人文学部・教育学部 (英語教育コース)	クラス指定授業の任意のクラスに履修登録してください。
中国語Ⅰ演習a	人文学部・教育学部 (英語教育コース)	クラス指定授業の初回履修登録クラスに履修登録してください。
中国語Ⅰ演習b	人文学部・教育学部 (英語教育コース)	クラス指定授業の任意のクラスに履修登録してください。
基礎線形代数学Ⅰ	教育学部	教育学部対象の授業で再履修してください。
基礎線形代数学Ⅱ	教育学部	教育学部対象の授業で再履修してください。
基礎微積分学Ⅰ	教育学部	教育学部対象の授業で再履修してください。
基礎微積分学Ⅱ	教育学部	教育学部対象の授業で再履修してください。
基礎生物学A	教育学部	再履修生用のクラスはありません。 クラス指定の授業を再履修してください。

基礎地学A	教育学部	再履修生用のクラスはありません。 クラス指定の授業を再履修してください。
分子生命体科学A	医学部	再履修生用のクラスはありません。 クラス指定の授業を再履修してください。
分子生命体科学B	医学部	再履修生用のクラスはありません。 クラス指定の授業を再履修してください。
化学・物理実験	工学部(電気電子工学 ・応用化学コース)	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
計算機基礎	工学部(電気電子工 学コース)	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
基礎線形代数学Ⅰ	工学部	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
基礎線形代数学Ⅱ	工学部	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
基礎微積分学Ⅰ	工学部	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
基礎微積分学Ⅱ	工学部	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
基礎数理統計学	工学部(建築学コース)	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
基礎物理学Ⅰ	工学部	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
基礎物理学Ⅱ	工学部	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
基礎物理学ⅢA	工学部	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
基礎物理学ⅢB	工学部	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
物理学実験	工学部	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
化学Ⅰ	工学部	「工学部学習要項」に記載されている各コースの 注意事項に従って履修してください。
数学基礎	生物資源学部	再履修生用のクラスを履修してください。
物理学基礎Ⅰ	生物資源学部	再履修生用のクラスを履修してください。
物理学基礎Ⅱ	生物資源学部	再履修生用のクラスを履修してください。
化学基礎Ⅰ	生物資源学部	再履修生用のクラスを履修してください。
化学基礎Ⅱ	生物資源学部	再履修生用のクラスを履修してください。
化学実験	生物資源学部	再履修生用のクラスはありません。 クラス指定の授業を再履修してください。
生物学基礎Ⅰ	生物資源学部	再履修生用のクラスを履修してください。
生物学基礎Ⅱ	生物資源学部	再履修生用のクラスを履修してください。
生物学実験	生物資源学部	再履修生用のクラスはありません。 クラス指定の授業を再履修してください。
地学基礎	生物資源学部	再履修生用のクラスはありません。 クラス指定の授業を再履修してください。

# 2015（平成27）～2022（令和4）年度入学者対象

## 再履修および編入学時の注意点について

2023年度から教養教育カリキュラムは共通教育カリキュラムに移行しました。再履修および編入学時の共通教育科目（旧称：教養教育科目）の履修については、以下の内容に注意した上で、入学年度の履修案内に基づいて行ってください。

なお、休学からの復学の場合、科目によっては再履修としての履修になることがあります。以下の内容をよく読み、不明な点については必ず科目の担当教員に相談してください。

## I 教養基盤科目 アクティブ・ラーニング領域

### 1. 「スタートアップPBLセミナー」および「スタートアップセミナー」

「スタートアップPBLセミナー（2019年度以前はスタートアップセミナー）」は、新カリキュラムから「大学基礎科目 スタートアップセミナー領域」の授業科目となります。再履修生および編入生は、「スタートアップPBLセミナー編入生・再履修生クラス（前期水曜 11・12限）」に履修申告してください。

また、第1回の授業に必ず出席してください。

**重要:**ただし、2019（平成31）年度以前入学の人文学部文化学科および2016（平成28）年度以前入学の人文学部法律経済学科の「スタートアップセミナー」の履修方法については、人文学部の学務担当を通して授業科目担当教員に相談してください。

#### 新旧対照表

旧（教養教育）授業科目名	新（共通教育）授業科目名
スタートアップセミナー	スタートアップPBLセミナー
スタートアップPBLセミナー	

### 2. 「教養セミナー」および「教養ワークショップ」

「教養セミナー（2019年度以前は教養ワークショップ）」は、新カリキュラムから「教養基礎科目」の授業科目となります。

#### 新旧対照表

旧（教養教育）授業科目名	新（共通教育）授業科目名
教養ワークショップ	PBLアカデミック・ライティング
教養セミナー	

#### 教養セミナーについての履修相談

履修についてわからないことがある場合には、相談を受け付けています。

以下連絡先へメールにて相談するか、メールでアポイントメントをとってください。

※[at]は@（アット）に置き換えてください。

教養教育科目 教養セミナー担当教員 和田 正法（ wadamasanori[at]ars.mie-u.ac.jp ）



## Ⅱ 教養基盤科目 外国語教育領域

### 1. 「英語 I TOEIC」

再履修生、編入生および休学明けの学生で、「英語 I TOEIC」の2単位が未修得(1単位のみ修得もしくは単位修得なし)の場合は、「英語 I TOEIC」集中再履修クラスを履修してください。

#### (1) 「英語 I TOEIC」集中再履修クラスの評価について

「英語 I TOEIC」集中再履修クラスの評価は、授業の合格と授業直後のTOEIC IPテストの結果によります。集中再履修クラスの授業に合格し、授業直後のTOEIC IPテストのスコアが400点未満の場合は評価点6、400点以上の場合、評価点7以上で**1単位が認定**されます(400点→7、440点→8、480点→9、520点→10)。600点以上の場合、「英語 I TOEIC」の未修得単位(1単位もしくは2単位)が評価点10で認定されます。

#### (2) 「英語 I TOEIC」集中再履修クラスの開講時期と対応するTOEIC IPテストについて

「英語 I TOEIC」集中再履修クラスは、9月及び3月に開講します。9月集中再履修クラスのTOEIC IPテストは9月に実施し、3月集中再履修クラスのIPテストは翌年度4月に実施します(新入生用の4月IPテストが対象となります)。日程の詳細については、共通教育行事予定表を確認してください。**なお、7月に実施されるTOEIC IPテストを受験することはできません。**

#### (3) 「英語 I TOEIC」集中再履修クラスによる単位認定の時期について

- ①9月の集中再履修クラスと9月IPテストによる単位は**後期の単位**として認定されます。
- ②3月の集中再履修クラスと翌年度4月のIPテストによる単位は**翌年度前期の単位**として認定されます。

#### (4) 「英語 I TOEIC」集中再履修クラスの履修登録について

「英語 I TOEIC」集中再履修クラスは、ユニパから履修登録する必要はありません。[共通教育学生掲示板](#)の掲示に注意し、必ず教科書を購入して第1回目の授業に出席してください。

	TOEIC IPテスト	単位認定の時期	履修登録
9月「英語 I TOEIC」集中再履修クラス	9月 IPテスト	後期	不要 (掲示に注意すること)
3月「英語 I TOEIC」集中再履修クラス	翌年度4月 IPテスト	翌年度前期	

### 2. 「英語 I 大学基礎」および「英語 I コミュニケーション」

再履修生、編入生および休学明けの学生で、「英語 I 大学基礎」および「英語 I コミュニケーション」の単位が未修得の場合は、前期または後期中に開講される再履修クラスを履修してください(1年生用クラスへの履修登録はできません)。再履修クラスの開講曜日時限は共通教育時間割表で確認してください。

### 3. 「英語 II 発展」

(1)「英語 II 発展」は、以下のいずれかの学生が受講できます。

- ①1年次4月のTOEIC IPテストまたは7月以降のTOEIC IPテストで500点以上を取得した学生
- ②「英語 I TOEIC」2単位を修得済みの学生

(2)「英語Ⅱ発展」には以下の授業科目があり、それぞれ週1回の授業で、1学期で1単位が認定されます。授業の詳しい内容はシラバスを参照してください。

授業科目名	内容
英語Ⅱ発展Aa	プレゼンテーション
英語Ⅱ発展Ab	プレゼンテーション
英語Ⅱ発展B	リーディング&ディスカッション
英語Ⅱ発展C	ライティング
英語Ⅱ発展D	ビジネスイングリッシュ
英語Ⅱ発展E	TOEIC受験対策

※同じ授業科目について、2回(2単位)まで単位を修得することができます。ただし、同一学期に同じ授業科目を2単位分履修する場合は、必ず担当教員の異なる授業を履修してください。重複履修の手続きも必要となります。

※ 2023(令和5)年度より、変更された点があります。

英語Ⅱ発展の受講条件の変更:TOEIC IPテスト600点以上⇒500点以上

#### 4. 英語履修相談

前期・後期ともに、履修申告期間に「英語履修相談」を実施します。英語の履修に関して、質問がある場合は相談に来てください。「英語履修相談」の日時や場所については、共通教育学生掲示板に掲示します。

### Ⅲ 教養基盤科目 異文化理解領域

再履修生および編入生の異文化理解領域の履修については、以下の内容に注意した上で、「新旧対照表」に従って履修してください。

なお、3年次編入生については、異文化理解領域の科目を履修する必要があるか、また、必要がある場合はどのように履修するかについては、各学部の指示に従ってください。

#### 1. 「ドイツ語」

##### (1) 「異文化理解Ⅰ基礎」および「異文化理解Ⅰ演習」

「ドイツ語」の「異文化理解Ⅰ」を再履修する場合は、受講可能な時限に開講されている「異文化理解Ⅰ基礎(ドイツ語A)(a, b)」、「異文化理解Ⅰ演習(ドイツ語A)(a, b)」または「異文化理解Ⅰ基礎(ドイツ語B)(a, b)」、「異文化理解Ⅰ演習(ドイツ語B)(a, b)」に履修申告してください。他の言語と異なり、履修申告時には旧(教養教育)授業科目名が表示されます。

なお、人数調整を行うことがありますので、調整結果に従って受講してください。

##### (2) 「異文化理解Ⅱ総合」および「異文化理解Ⅱ演習」

「ドイツ語」の「異文化理解Ⅱ」を再履修する場合は、受講可能な時限に開講されている「異文化理解Ⅱ総合(ドイツ語A)」、「異文化理解Ⅱ演習(ドイツ語A)」または「異文化理解Ⅱ総合(ドイツ語B)」、「異文化理解Ⅱ演習(ドイツ語B)」に履修申告してください。他の言語と異なり、履修申告時には旧(教養教育)授業科目名が表示されます。

なお、人数調整を行うことがありますので、調整結果に従って受講してください。

#### 2. 「フランス語」および「中国語」

##### (1) 「異文化理解Ⅰ基礎」および「異文化理解Ⅰ演習」

###### ①教育学部(英語教育コースを除く)、医学部、工学部および生物資源学部

「フランス語」および「中国語」の「異文化理解Ⅰ」を再履修する場合は、受講可能な時限に開講されている教養基礎科目の「〇〇語ⅠA(a, b)」または「〇〇語ⅠB(a, b)」に履修申告してください。ただし、どちらの言語についても、人数調整を行うことがありますので、調整結果に従って受講してください。

なお、「中国語ⅠAa」「中国語ⅠAb」の登録は、同時限に開講しているクラスのうち、共通教育授業科目時間割表に「(初回履修登録クラス)」と表示されたクラスに登録してください。各クラスの履修環境の差をなくすため、履修申告期間終了後にクラス分けを行います。履修者は、授業開始前に発表される「クラス分け結果」を確認し、指定されたクラスの授業に出席してください。また、履修科目修正期間内に、指定されたクラスへの登録の修正を各自で行ってください。

###### ②人文学部および教育学部英語教育コース

「フランス語」および「中国語」の「異文化理解Ⅰ」を再履修する場合は、なるべく専攻基礎科目の「〇〇語Ⅰ基礎(a, b)」、「〇〇語Ⅰ演習(a, b)」の該当科目を履修してください。ただし、開講時限に履修できない場合は、履修相談をした上で、教養基礎科目の「〇〇語ⅠA(a, b)」、「〇〇語ⅠB(a, b)」を受講してください。

なお、前期開講の「中国語Ⅰ基礎a」「中国語Ⅰ演習a」の登録は、同時限に開講しているクラスのうち、共通教育授業科目時間割表に「(初回履修登録クラス)」と表示されたクラスに登録してください。各クラスの履修環境の差をなくすため、修正申告期間終了後にクラス分けを行います。履修者は、授業開始前に発表される「クラス分け結果」を確認し、指定されたクラスの授業に出席してください。また、履修科目修正期間内に、指定されたクラスへの登録の修正を各自で行ってください。

また、後期開講の「中国語Ⅰ基礎b」「中国語Ⅰ演習b」については、クラス指定授業の任意のクラスに履修登録してください。

## (2) 「異文化理解Ⅱ総合」および「異文化理解Ⅱ演習」

「フランス語」および「中国語」の「異文化理解Ⅱ」を再履修する場合は、受講可能な時限に開講されている教養基礎科目の「〇〇語Ⅱ総合(a, b)」または「〇〇語Ⅱ演習(a, b)」に履修申請してください。

なお、どちらの言語についても、人数調整を行うことがありますので、調整結果に従って受講してください。

## 3. 「朝鮮語」、「ロシア語」、「スペイン語」および「ポルトガル語」

「朝鮮語」、「ロシア語」、「スペイン語」および「ポルトガル語」を再履修する場合は、受講可能な時限に開講されている教養基礎科目の「〇〇語ⅠA(a, b)」または「〇〇語ⅠB(a, b)」に履修申請してください。なお、どの言語についても、人数調整を行うことがありますので、調整結果に従って受講してください。

## 4. 異文化理解履修相談

異文化理解の履修について、わからないことがある場合には、以下連絡先へメールにて相談するか、メールでアポイントメントを取り、対面にて相談してください。

※[at]は@(アット)に置き換えてください。

ドイツ語

ドイツ語教務担当教員 稲葉 瑛志 ( inaba[at]human.mie-u.ac.jp )

フランス語

フランス語教務担当教員 グットマン・ティエリー ( guthmann-th[at]human.mie-u.ac.jp )

中国語

中国語担当教員 湯浅 陽子 ( yuasa[at]human.mie-u.ac.jp )

その他の言語

未習外国語科目担当教員 大井 淳史 ( ooi[at]ars.mie-u.ac.jp )

### 新旧対照表

旧(教養教育)授業科目名	新(共通教育)授業科目名
異文化理解Ⅰ基礎(フランス語)a	フランス語ⅠAa *
	フランス語Ⅰ基礎a *
異文化理解Ⅰ基礎(フランス語)b	フランス語ⅠAb *
	フランス語Ⅰ基礎b *
異文化理解Ⅰ演習(フランス語)a	フランス語ⅠBa *
	フランス語Ⅰ演習a *
異文化理解Ⅰ演習(フランス語)b	フランス語ⅠBb *
	フランス語Ⅰ演習b *
異文化理解Ⅰ基礎(中国語)a	中国語ⅠAa *
	中国語Ⅰ基礎a *
異文化理解Ⅰ基礎(中国語)b	中国語ⅠAb *
	中国語Ⅰ基礎b *
異文化理解Ⅰ演習(中国語)a	中国語ⅠBa *
	中国語Ⅰ演習a *
異文化理解Ⅰ演習(中国語)b	中国語ⅠBb *

	中国語Ⅰ演習b *
異文化理解Ⅰ基礎(朝鮮語)a	朝鮮・韓国語ⅠAa
異文化理解Ⅰ基礎(朝鮮語)b	朝鮮・韓国語ⅠAb
異文化理解Ⅰ演習(朝鮮語)a	朝鮮・韓国語ⅠBa
異文化理解Ⅰ演習(朝鮮語)b	朝鮮・韓国語ⅠBb
異文化理解Ⅰ基礎(ロシア語)a	ロシア語ⅠAa
異文化理解Ⅰ基礎(ロシア語)b	ロシア語ⅠAb
異文化理解Ⅰ演習(ロシア語)a	ロシア語ⅠBa
異文化理解Ⅰ演習(ロシア語)b	ロシア語ⅠBb
異文化理解Ⅰ基礎(スペイン語)a	スペイン語ⅠAa
異文化理解Ⅰ基礎(スペイン語)b	スペイン語ⅠAb
異文化理解Ⅰ演習(スペイン語)a	スペイン語ⅠBa
異文化理解Ⅰ演習(スペイン語)b	スペイン語ⅠBb
異文化理解Ⅰ基礎(ポルトガル語)a	ポルトガル語ⅠAa
異文化理解Ⅰ基礎(ポルトガル語)b	ポルトガル語ⅠAb
異文化理解Ⅰ演習(ポルトガル語)a	ポルトガル語ⅠBa
異文化理解Ⅰ演習(ポルトガル語)b	ポルトガル語ⅠBb
異文化理解Ⅱ総合(フランス語)	フランス語Ⅱ総合a ** フランス語Ⅱ総合b **
異文化理解Ⅱ演習(フランス語)	フランス語Ⅱ演習a ** フランス語Ⅱ演習b **
異文化理解Ⅱ総合(中国語)	中国語Ⅱ総合a ** 中国語Ⅱ総合b **
異文化理解Ⅱ演習(中国語)	中国語Ⅱ演習a ** 中国語Ⅱ演習b **
異文化理解Ⅲ応用(中国語A)	開講なし
異文化理解Ⅲ応用(中国語B)	開講なし

\* 所属学部によって再履修する新(共通教育)授業科目名が異なります。

\*\* 旧(教養教育)授業科目として履修する場合は、前期および後期(a, b)の区別はありません。

## IV 教養基盤科目 健康科学領域

### 1. 「スポーツ健康科学 a」 および「スポーツ健康科学 b」

#### (1) 単位認定

再履修生および編入生が「スポーツ健康科学(a, b)」を履修する場合は、新旧対照表を確認し、必ず対応する名称の科目を履修してください。例えば、「スポーツ健康科学 a」の単位が認定されなかった場合は、「スポーツ健康科学A」を履修してください。「スポーツ健康科学B」を履修しても「スポーツ健康科学a」の単位としては認められません。

#### (2) クラス指定

再履修生および編入生の履修について、以下のようにクラスを指定します。

①所属学部ごとに指定されている曜日で履修してください。ただし、人数の都合で木曜日 7・8 限は原則として受け入れられません。

②上記の①が不可能な場合は、履修を希望する曜日・時限の第1回目授業時の履修ガイダンスの最初に担当教員に申し出てください。やむを得ないと判断された場合は、他学部指定されている曜日・時限での履修が認められます。

#### (3) 履修申告

履修申告は前期および後期ともに、以下の手順で行います。

①まず、通常の履修申告期間中に、指定されたクラスに開講されている運動種目の中から、希望する種目一つを選んで登録してください。これは仮の申告です。

②次に、4月または10月の第1回目の授業時に、第一体育館において履修ガイダンスを実施し、種目を決定しますので、必ず出席してください。このとき、本人の希望は考慮しますが、施設や用具等の諸条件により希望どおりにならない場合もあります。

③履修ガイダンスによって決定した種目を、前期または後期の履修科目修正期間に正しく登録してください(仮の申告と同じ種目になった場合は確認してください)。これが本申告となります。

※第1回目の授業に出席できなかった者は、第2回目の授業までに教育学部1号館1階「保健体育事務室」にその旨を報告し、体育カードの作成と種目決定の手続きを行ってください。

### 2. 「スポーツ健康科学概論」

再履修生および編入生が「スポーツ健康科学概論」を履修する場合は、再履修クラスに履修申告してください。履修申告については、他の授業科目と同様に行ってください。

#### 新旧対照表

旧(教養教育)授業科目名	新(共通教育)授業科目名
スポーツ健康科学a	スポーツ健康科学A
スポーツ健康科学b	スポーツ健康科学B
スポーツ健康科学概論	スポーツ健康科学概論

## V 教養基盤科目 基礎教育領域

各学部の目的別カリキュラムについては、以下の新旧対照表に従って履修してください。

なお、工学部の基礎教育科目の履修については、「工学部学習要項」に記載された各学科またはコースの注意事項に従ってください。

また、「化学Ⅱ」は 2023(令和5)年度以降、工学部の専門教育科目として開講されます。再履修については、工学部の指示に従ってください。

### 新旧対照表

旧(教養教育)授業科目名	新(共通教育)授業科目名
情報科学基礎	データサイエンスⅠ
情報科学基礎A	
データサイエンスⅠ	
情報科学基礎B	データサイエンスⅡ
プログラミング言語Ⅰ	
データサイエンスⅡ	
基礎生物学B	分子生命体科学A
分子生命体科学A	
基礎生物学C	分子生命体科学B
分子生命体科学B	
化学Ⅱ	開講なし

## VI 教養基盤科目 キャリア教育領域

「キャリア教育入門」は、新カリキュラムから「大学基礎科目 キャリア教育領域」の科目となり、2023(令和5)年度以降入学者の必修科目となりました。3年次編入生を含む2022(令和4)年度以前入学者は、2023(令和5)年度以降入学者向けに学部ごとにクラス指定のある「キャリア教育入門」を履修することはできません。他のキャリア教育領域の科目を履修してください。

## VII 教養統合科目

「教養統合科目」は、新カリキュラムから「教養基礎科目」となります。新カリキュラムでは、一部の授業科目名にアラビア数字が付与されますが、2022(令和4)年度以前のカリキュラムにおいては、以下の新旧対照表のとおり、同一授業科目となるため注意してください。同一授業科目を履修する場合は重複履修となり、別途手続きが必要となります。また、手続きを行って重複履修した場合、卒業条件を満たす単位として取り扱われるのは、1授業科目の単位数のみとなります。

特に、新カリキュラムから新しく開講される「データサイエンスⅢ」は、2022(令和4)年度以前のカリキュラムにおいては「現代科学理解特殊講義」となるため、十分注意してください。

### 新旧対照表

旧(教養教育)授業科目名	新(共通教育)授業科目名
PBL政治学(国際・現代)	PBL政治学1
PBL政治学(地域・日本)	PBL政治学2
三重学	三重学1
	三重学2
PBL数理科学(現代科学)	PBL数理科学
物理学	物理学1
	物理学2
生物学	生物学1
	生物学2
	生物学3
	生物学4
自然科学概論	自然科学概論1
	自然科学概論2
	自然科学概論3
PBL自然科学概論(現代科学)	PBL自然科学概論
医学医療A	医学医療A1
	医学医療A2
医学医療B	医学医療B1
	医学医療B2
医学医療C	医学医療C1
	医学医療C2
PBL医学・看護学(現代科学)	PBL医学・看護学
環境科学	環境科学1
	環境科学2
日本理解特殊講義	日本理解特殊講義1
	日本理解特殊講義2
	日本理解特殊講義3
	日本理解特殊講義4
	日本理解特殊講義5
現代社会理解特殊講義	現代社会理解特殊講義1
	現代社会理解特殊講義2
	現代社会理解特殊講義3
	現代社会理解特殊講義4



現代社会理解実践	現代社会理解実践1
	現代社会理解実践2
	現代社会理解実践3
国際理解実践	国際理解実践1
	国際理解実践2
	国際理解実践3
国際理解特殊講義	国際理解特殊講義1
	国際理解特殊講義2
	国際理解特殊講義3
	国際理解特殊講義4
	国際理解特殊講義5
現代科学理解特殊講義	現代科学理解特殊講義1
	現代科学理解特殊講義2
	データサイエンスⅢ
PBL現代科学理解特殊講義(現代科学)	PBL現代科学理解特殊講義1
	PBL現代科学理解特殊講義2
	PBL現代科学理解特殊講義3

## 2014（平成 26）年度以前入学者の履修について

2014(平成 26)年度以前入学者で、共通教育科目(旧称:教養教育科目)を履修する必要がある場合は、共通教育事務室にお問い合わせください。

共通教育事務室 : 共通教育校舎1号館1階 ( メールアドレス:[kyovogakumu@ab.mie-u.ac.jp](mailto:kyovogakumu@ab.mie-u.ac.jp) )